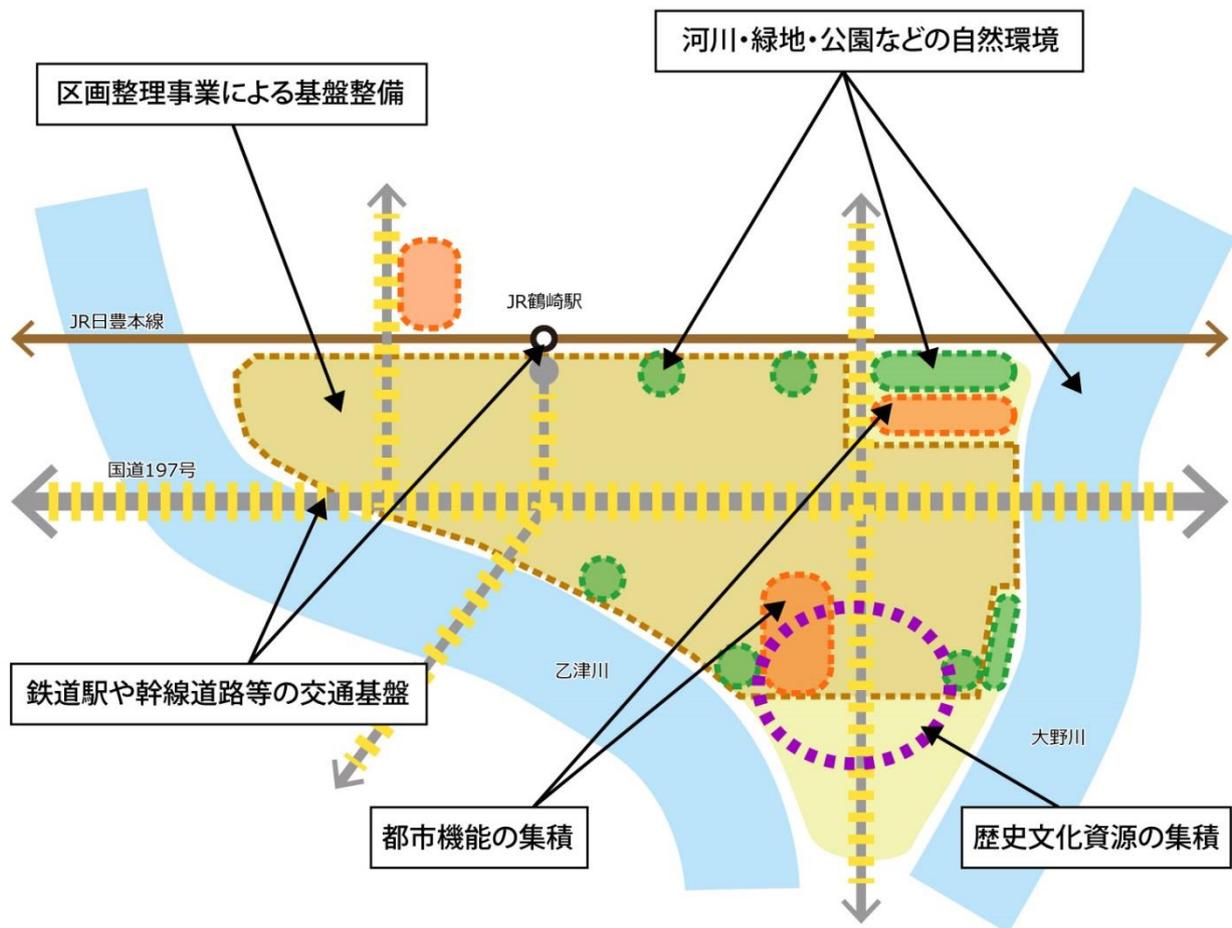


第4章 鶴崎駅周辺地区の将来像

1. 鶴崎駅周辺地区の魅力

本地区は、別府湾に注ぐ大野川、乙津川に隣接しており、古くから水運を利用し、瀬戸内海航路の拠点として発展しました。地区内には、豊かな歴史を背景とした寺社などの歴史文化資源や、鶴崎踊りに代表されるような伝統行事が脈々と受け継がれています。

また、現在では区画整理事業による充実した都市基盤を背景に、大分市中心市街地に次ぐ中枢的な商業・業務地区を形成しており、特急列車の停車する鉄道駅や幹線道路などの交通基盤、鶴崎市民行政センターを含む公共機関の窓口や子育て支援施設、医療施設、公園のほか、国道197号沿道には商業施設などの生活関連施設が立地し、高い生活利便性をもつ地区となっています。



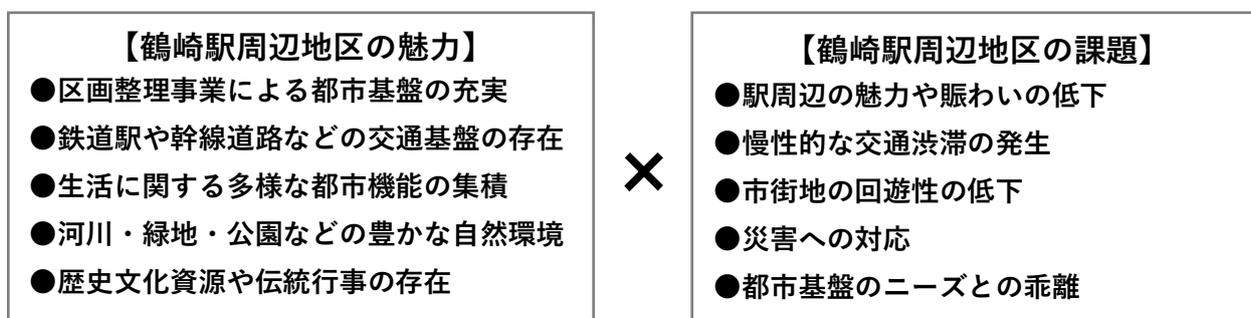
2. 鶴崎駅周辺地区の将来像

本地区には多くの魅力がある一方、少子高齢化やそれに伴う人口の減少、駅周辺から郊外ロードサイドへの賑わいの分散、慢性的な渋滞の発生、低未利用地の拡大、災害への対応など様々な問題も生じてきています。

さらに、成長社会から成熟社会への移行に伴い人々の意識や価値観は変化し、働き方の多様化や暮らしの質が重要視されるなど、人々が暮らしに求めるものも多様化しつつあり、時代のニーズに沿った都市基盤の更新が求められています。

本地区では、このような現状を踏まえ、豊かな歴史と自然環境、そして既存の都市基盤を最大限に生かしながら、課題に対応した適切なリニューアルを進めることで、次世代を担う子どもたちやその親世代を含む多世代が豊かに暮らしていくためのまちを目指します。

このようなことから本地区は、「伝統と文化を感じる多世代のための暮らしの拠点」をまちの将来像とします。



時代のニーズに沿った都市基盤の適切なリニューアル

伝統と文化を感じる多世代のための暮らしの拠点